

参考資料に対する意見は受付けしていません。

第3次筑西市総合計画策定に向けた 市民ワークショップ

報 告 書

令和7年8月
筑西市

目次

報告書	1
1. 概要	1
1.1. 目的	1
1.2. 日時	1
1.3. 開催場所	1
1.4. 出席者	1
1.5. テーマ	1
2. 当日の実施内容	2
2.1. プログラム	2
2.2. 当日レイアウト	2
2.3. 開会の挨拶・趣旨説明	3
2.4. グループワーク	3
2.4.1. グループワークの流れ	3
2.4.2. グループワーク詳細	5
3. ワークショップの実施結果	8
3.1. 意見の一覧（筑西市の良いところ/改善点）	8
3.2. 意見のまとめ（筑西市の良いところ/改善点）	12
3.3. 意見の一覧（理想の未来像とやってみたいこと）	13
3.4. 意見のまとめ（理想の未来像とやってみたいこと）	17
4. 参考資料	18
4.1. 集合写真	18
4.2. グラフィックレコーディング	19

1. 概要

1.1. 目的

本ワークショップは、以下を目的として実施しました。

- ・本市の課題や市民ニーズを明らかにし、目指すべき姿を実現するための、市民目線の意見や提案を収集
- ・第3次筑西市総合計画に対する理解と協力を得て、市民参画を促進

1.2. 日時

令和7年7月13日（日）14時00分から16時30分まで

1.3. 開催場所

しもだて地域交流センター（アルテリオ）1階集会室

1.4. 出席者

【参加者】

公募 16名

【事務局】

株式会社セカンドファクトリー（齋藤、横須賀、谷川）

アビームコンサルティング株式会社（陸川、烏川、國谷）

筑西市企画課（野口、木村、白田）

1.5. テーマ

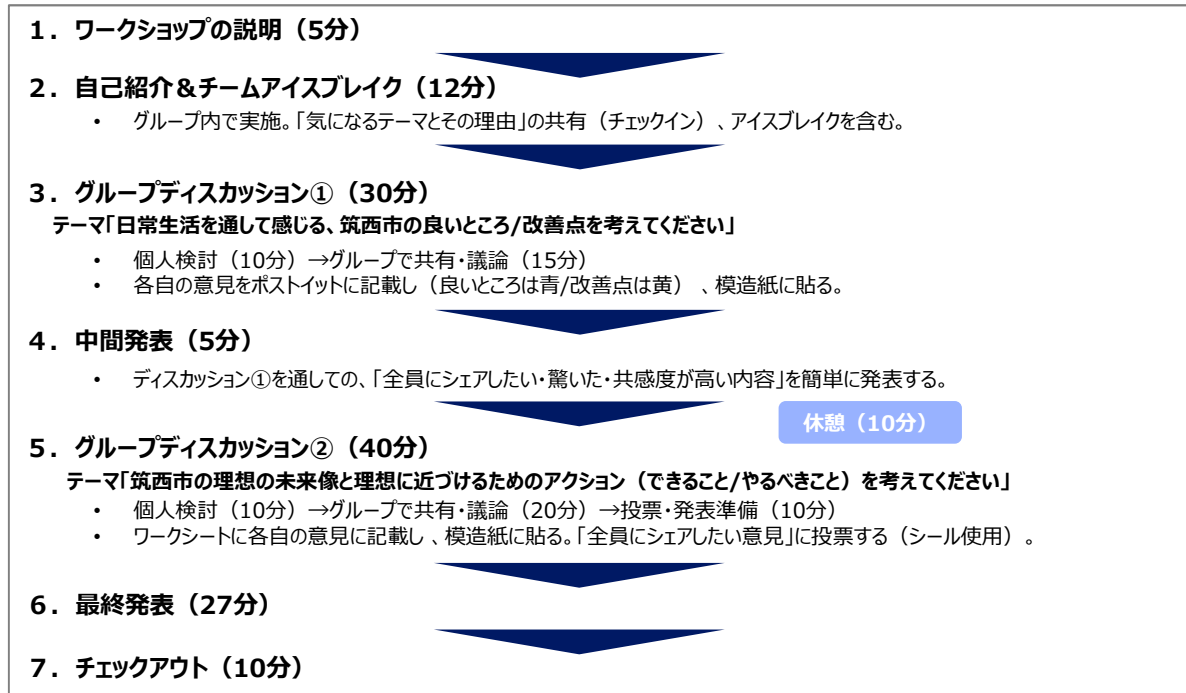
【筑西市の強みや目指すべき姿の提案】

市や地域の強み（Good）と改善点（Bad）を洗い出し、理想のまちの未来像や、その理想に近づくためのアクションを考えてもらいます。

2. 当日の実施内容

2.1. プログラム

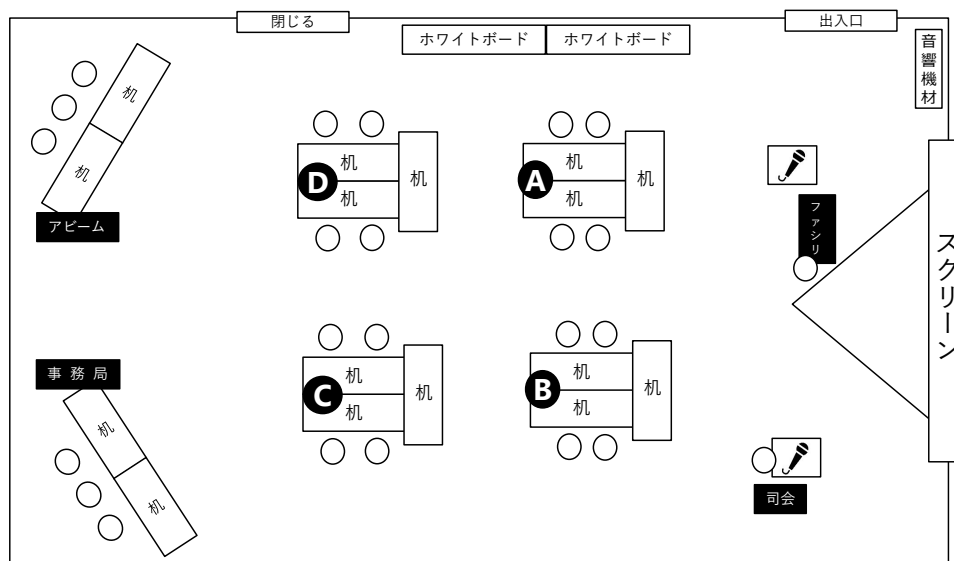
当日は以下の流れに沿って実施しました。



図表 1 当日の流れ

2.2. 当日レイアウト

当日は以下のレイアウトで実施しました。参加者を4グループに分け、1グループあたり4名の人数でグループワークを行いました。



図表 2 当日レイアウト

2.3. 開会の挨拶・趣旨説明

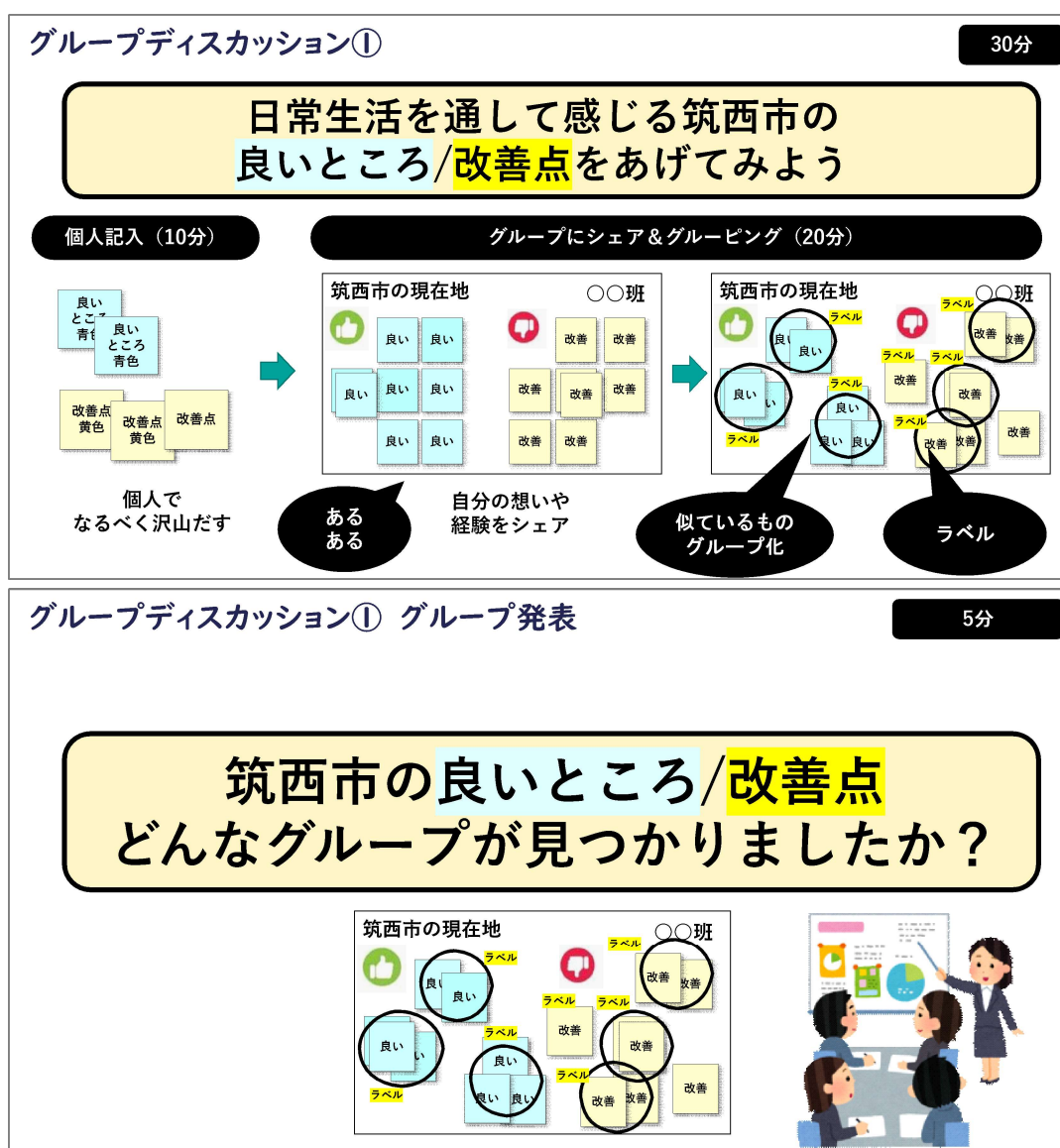
企画課長からワークショップ参加者に向けて、開会の挨拶を行いました。
また、企画課担当者から、総合計画と市民参加の趣旨を説明しました。

2.4. グループワーク

参加者の自己紹介（チェックイン）を行い、グループワークを実施しました。グループワークでは、グループ毎にディスカッションを行い、最後にすべてのグループが発表を行いました。グループワークの流れと、それぞれの詳細内容は以下のとおりです。

2.4.1. グループワークの流れ

グループワークは進め方の説明から始まり、グループディスカッション①では、個人ワークを通じて考えた意見について、グループ内でディスカッションをした後、中間発表を行いました。グループディスカッション②では、①を踏まえ、個人ワークを行い、再度グループ内でディスカッションをした後、最終発表を行いました。詳細な流れは以下のとおりです。



図表 4 グループディスカッション①の流れ

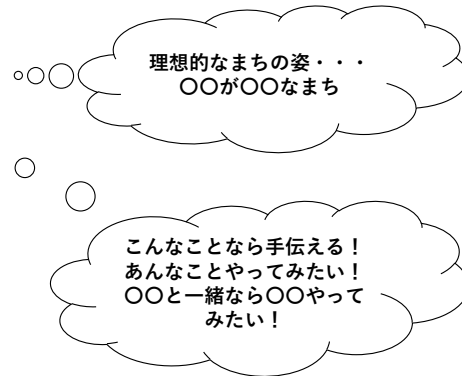
筑西市の理想の未来像とやってみたいこと

STEP1 筑西市の理想の未来像（スローガン）

STEP2 発想の手助けツール
（キーワード、誰に、何を、どうやって、どこで、誰と）

STEP3 やってみたいこと
手伝ってみたい、関わってみたいこと

ピンクの付箋

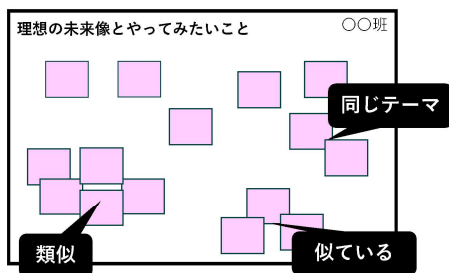


グループディスカッション② グループワーク

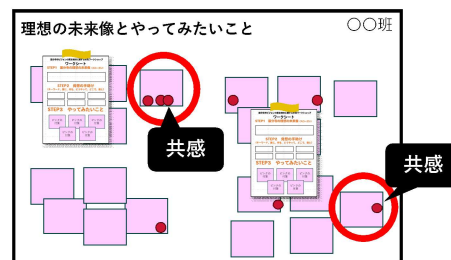
30分

グループに物語をシェア（20分） 1人2分程度

盛り上がったリ、共感度の高いものを2つ程度選ぶ（10分）



- ・ 想いや背景を伝えてシェアする
- ・ 類似のアイデアやテーマをまとめる

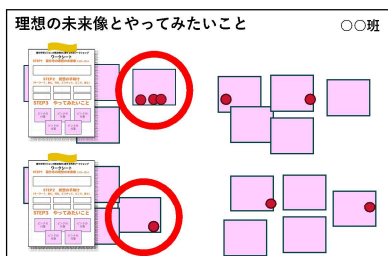


- ・ 共感シール貼り付け（一人3枚）
- ・ 数が多いものに○を付ける（1～2個程度）
- ・ 元になったワークシートを貼る

最終発表

20分

理想の未来像とやってみたいこと（1つ～2つ）



- ・ 筑西市の理想の未来像を伝えてください
- ・ 理想に近づくために「やってみたいこと」「手伝いたいこと」を伝えてください
- ・ 「背景や想い」も添えてください



図表 5 グループディスカッション②の流れ

2.4.2. グループワーク詳細

(1) 全体説明

グループディスカッションの進め方についての説明を行いました。実施するグループワークについての説明として、テーマやワーク時のグラドルール等の確認を行いました。



図表 6 全体説明の様子

(2) 自己紹介

最初のワークとして、アイスブレイクも兼ねて自己紹介を行いました。ワークシートを用いて、「筑西市の良いところ・改善してほしいところ」「参加した理由」「似顔絵・ニックネーム」を各人で記入した後、グループ内で自己紹介しました。



図表 7 自己紹介の様子

(3) グループディスカッション①

個人ワークであげた、日常生活を通じて感じる「筑西市の良いところ/改善点」をグループ内で共有しました。その後、中間発表に向け、各グループでアイデアを整理しました。



図表 8 グループディスカッション①の様子

(4) 中間発表

グループディスカッション①のまとめとして、「筑西市の良いところ/改善点」についてグループで話し合った結果を発表しました。



図表 9 中間発表の様子

(5) グループディスカッション②

グループディスカッション①を踏まえ、「筑西市の理想の未来像とやってみたいこと」を個人ワークで考え、グループで意見交換を行いました。最終発表に向け、各グループで発表資料の最終化を行いました。



図表 10 グループディスカッション②の様子

(6) 最終発表

グループワークの最後のまとめとして、筑西市の理想の未来像、理想に近づけるために「やってみたいこと」「手伝いたいこと」について話し合った結果をグループ毎に発表しました。



図表 11 最終発表の様子

3. ワークショップの実施結果

ワークショップを通じて、本市に関する多くの意見が出ました。各グループが話し合った内容や発表した意見は以下のとおりです。

3.1. 意見の一覧（筑西市の良いところ/改善点）

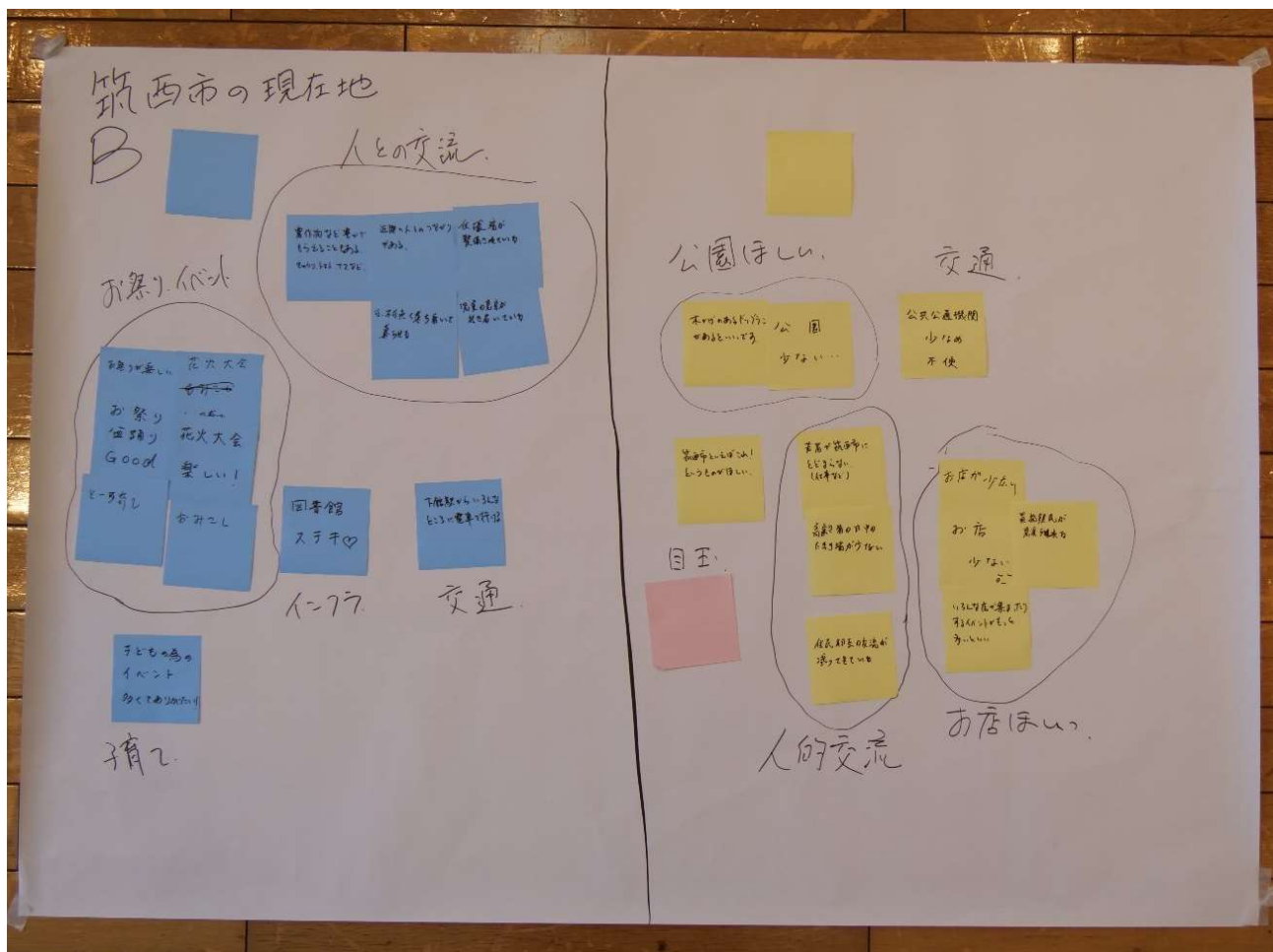
各グループより出された意見をまとめました。

<A班>	
筑西市の良いところ：	筑西市の改善点：
・自然豊か（筑波山、田んぼ、川、里山等） ・災害が起こりにくい地形 ・道が平坦（バイクにちょうど良い） ・農作物が豊富 ・空気おいしい ・祭りやイベントが多い ・和菓子屋、カフェ、ヒロサワシティ、蕎麦屋等の魅力的な店がある	・若者が戻らない ・市民会館がない ・気軽に集まれる場所がない ・民生委員等のなり手がいない ・市民からの発信が少ない ・生活道路の整備が遅れている ・大企業が少ない ・外国人支援が不足 ・アパート等の開発が多い



図表 12 発表用模造紙①（A班）

<B 班>	
筑西市の良いところ：	筑西市の改善点：
・祭りや花火大会等が盛んで、子ども向けのイベントも多い ・下館駅から色々なところへ電車で行ける ・農産物をもらえる ・近隣の人とのつながりがある ・児童の見守りが行き届いている ・落ち着いて暮らせる ・図書館がステキ	・公園が少ない ・公共交通機関が少なく不便 ・働く場所がなく、若者が筑西市に留まらない ・高齢者の日中のたまり場が少ない ・筑西市と言えばコレ！がない ・お店が少ない



図表 13 発表用模造紙① (B 班)

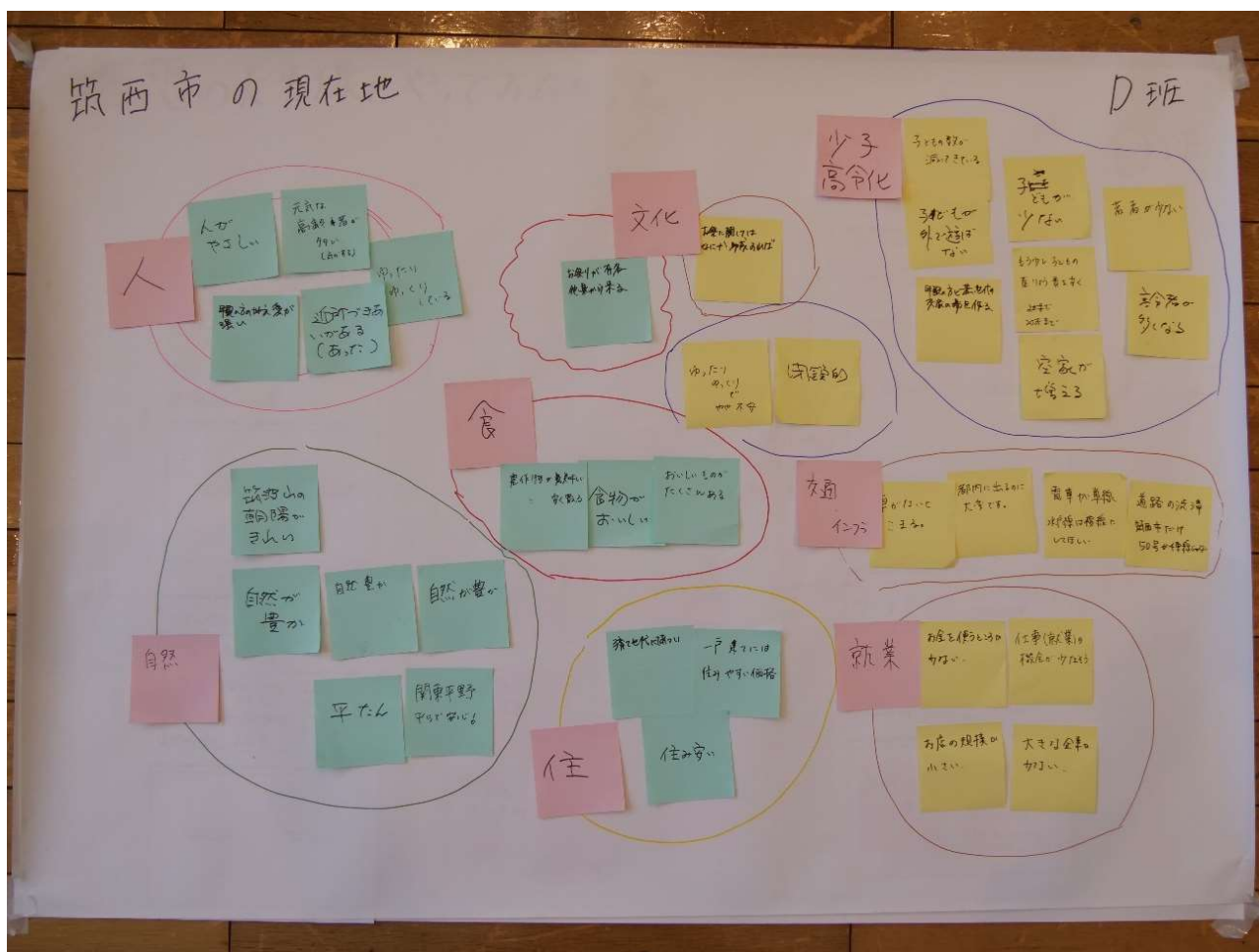
<C班>	
筑西市の良いところ：	筑西市の改善点：
・お祭りが活発 ・子育て支援が充実している ・生活環境が整っている ・自然が豊か ・空気がきれい ・土地が広い ・野菜が新鮮、食べ物がおいしい	・優秀な若者が働く職場が少ない（IT企業等） ・未整備の土地や空き家が多い ・道路が整備されていない ・歩道が歩きにくい ・税金を安くしてほしい



図表 14 発表用模造紙①（C班）

<D班>

筑西市の良いところ：	筑西市の改善点：
・人が優しい ・元気な高齢者が多い ・近所付き合いがある ・自然が豊か、筑波山の朝陽がきれい ・関東平野なので平たんで安心 ・農作物がおいしくて安い ・祭りが有名 ・子育て支援が充実 ・一戸建てには住みやすい価格	・子どもが少ない ・若者が少ない ・空き家が増えている ・子どもの医療費が高い ・車がないと交通アクセスが悪い ・電車が単線 ・道路が渋滞する ・就業の機会が少ない ・大きな企業が少ない ・お金を使うところがない



図表 15 発表用模造紙① (D班)

3.2. 意見のまとめ（筑西市の良いところ/改善点）

筑西市の良いところとして、「自然が豊か」、「空気がおいしい、きれい」、「農作物が豊富」等、自然や農作物に関して好意的な意見が数多くありました。土地が広いという意見や、関東平野に位置し、平たんであることが安心につながっているという意見もあり、自然環境が評価されていることが分かります。

また、お祭りや花火大会等のイベントが豊富である点も筑西市の良いところとして挙げられました。このようなイベントがあることで、近所の人をはじめとした地域の中でのつながりが定着していることも筑西市の良いところとして考えられています。

一方で、民生委員等のなり手不足、日中に集まれる場所がない、筑西市としての目玉がない等の意見があり、今後はこうしたことを改善していく必要があります。

子育て支援については、他自治体と比較して充実していると評価する声が多く挙がりました。

一方で、子どもの医療費が高いという意見もあり、こうしたことを改善し、子育て支援をさらに拡充することで、筑西市の良いところをもっと伸ばすことができる可能性が考えられます。

交通環境については、公共交通機関によるアクセス性の低さや、道路や歩道の整備が不十分という意見が出されました。公共交通機関によるアクセス性が低いことで、車に頼った生活をせざるを得ない状況であり、道路の渋滞や道幅が狭いこと等が改善点として挙げられました。

経済については、企業が少なくという意見や、お金を消費する場所がないと指摘されています。参加者の中には、市外の企業に就職し、筑西市で暮らし、リモートワークで仕事をしているという方もいました。筑西市は子育て支援が充実しており、住む場所、子育てする場所としては良いという意見がありますが、今後は若者の就労支援の拡充や企業誘致の強化が求められています。

<主な意見>

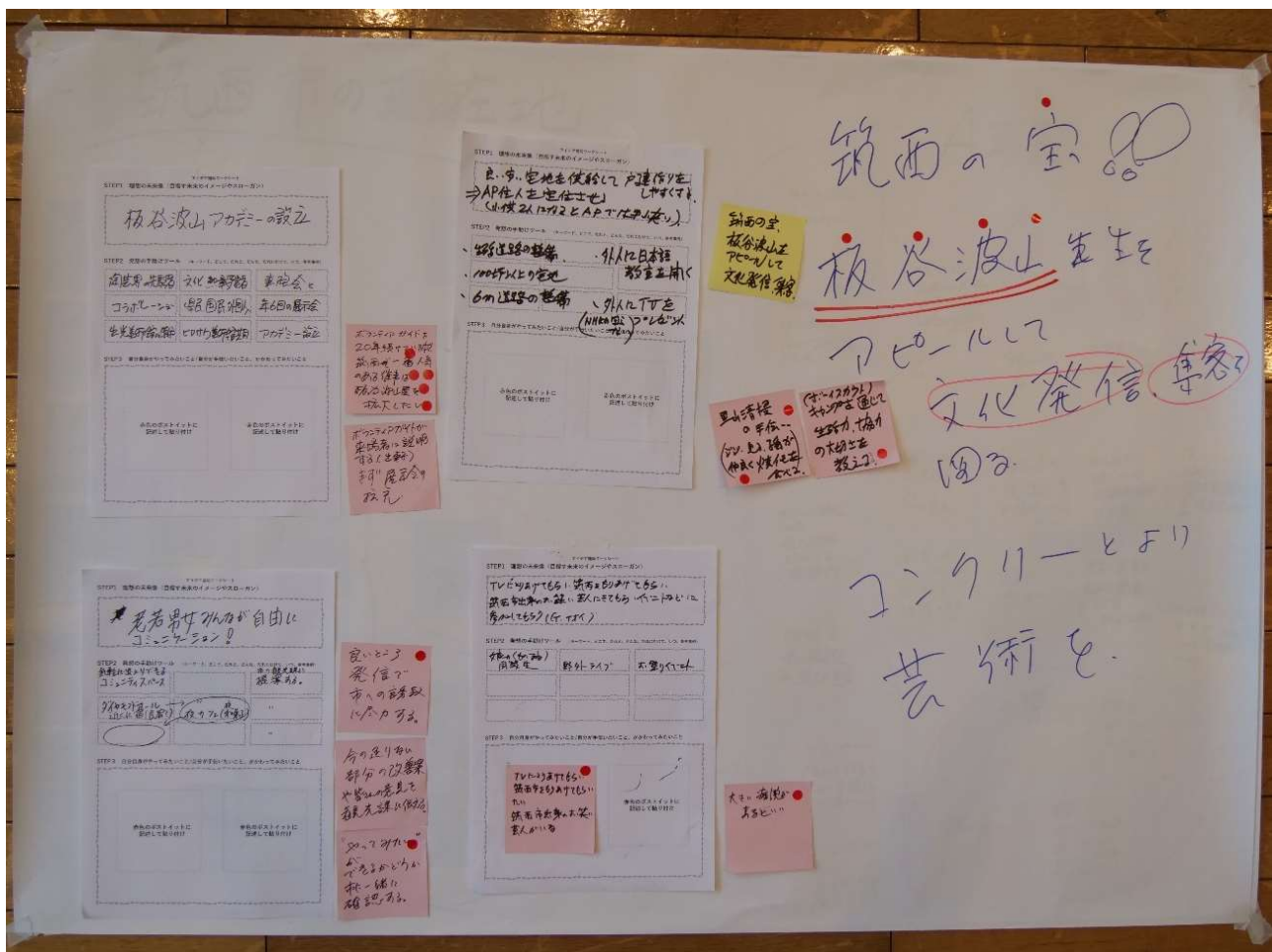
筑西市の良いところ：	筑西市の改善点：
・自然が豊か ・空気がおいしい ・近所の人とのつながりがある ・農作物が豊富、安くておいしい ・お祭りや花火大会等のイベントが多い ・子育て支援が充実 ・土地が広く、平たんて安心	・子どもや若者が少ない ・若者が働く場所がない、企業が少なく ・目玉がない ・気軽に集まれる場所がない ・公共交通機関が少なく不便 ・道路や歩道が整備されていない ・お金を使う場所がない、お店が少なく

3.3. 意見の一覧（理想の未来像とやってみたいこと）

各グループより出された意見をまとめました。

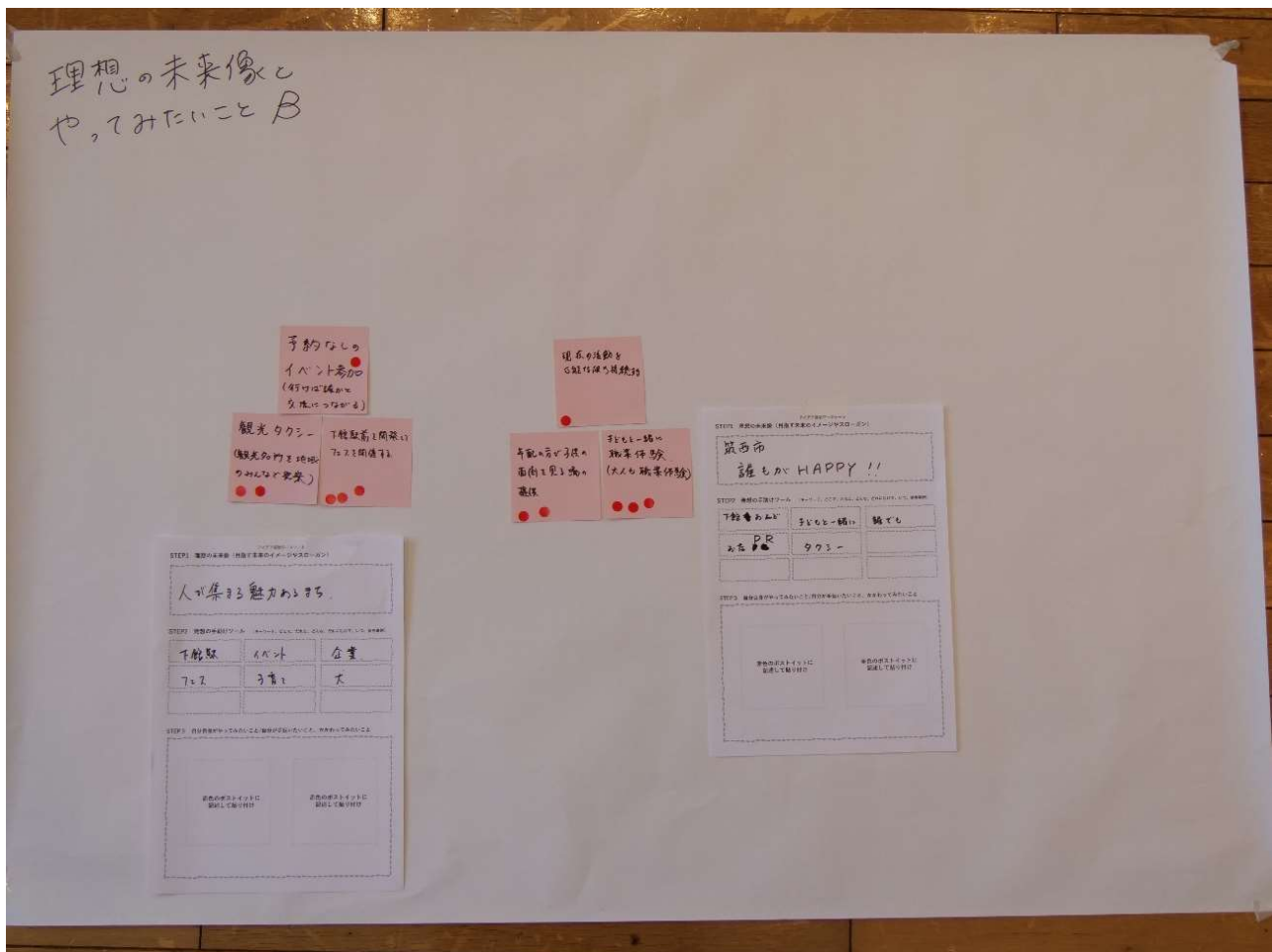
<A班>

理想の未来像：	・板谷波山アカデミーの設立 ・安くて良い宅地を供給して戸建てづくりをしやすくする ・老若男女みんなが自由にコミュニケーション ・筑西市をテレビに取り上げてもらって盛り上げたい
やってみたいこと：	・板谷波山展を拡大したい ・里山清掃の手伝い ・キャンプを通じて生活力や協力の大切さを教える ・良いところを発信して筑西市への誘致に尽力する



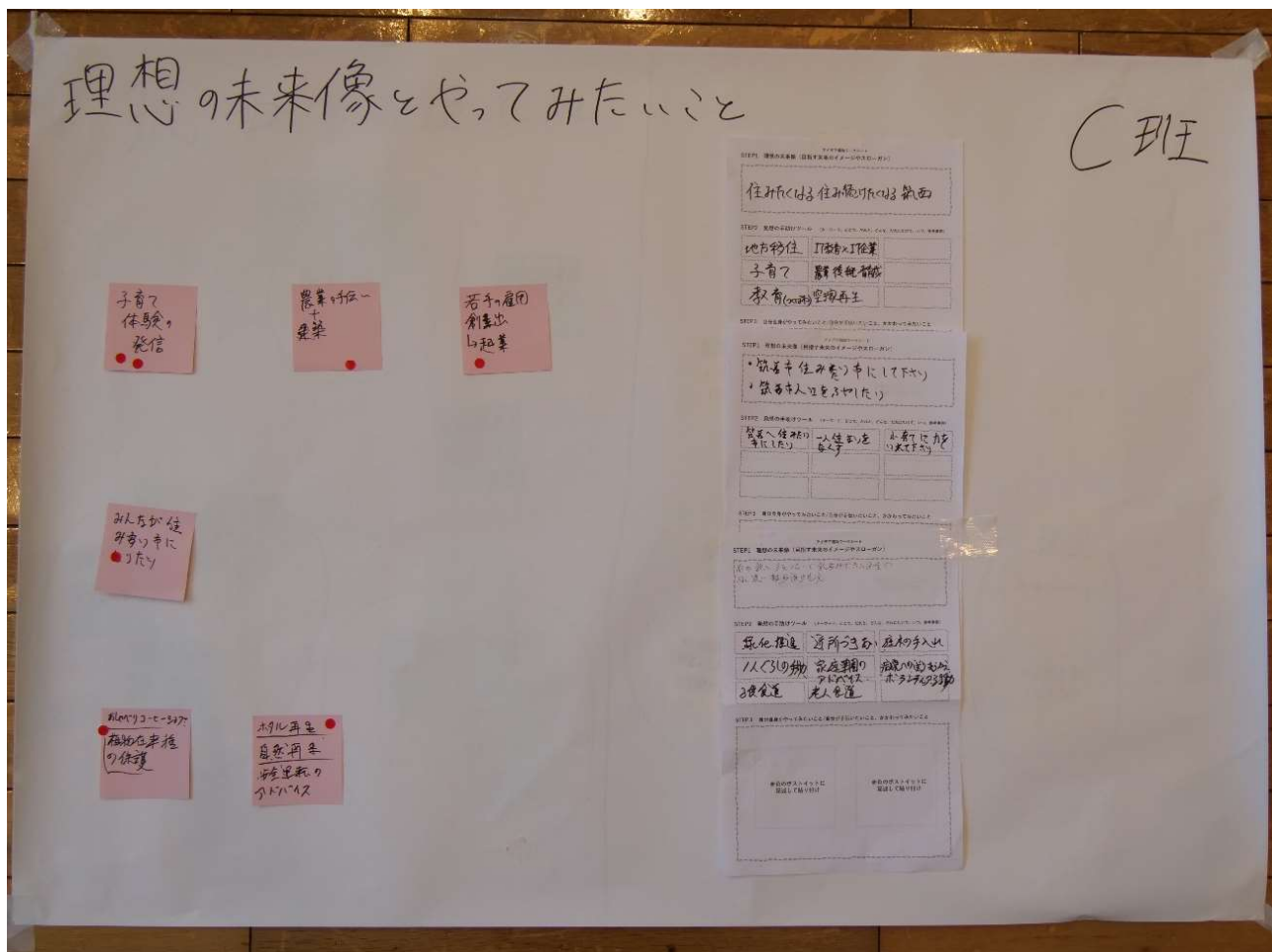
図表 16 発表用模造紙② (A班)

<B 班>	
理想の未来像：	・筑西市 誰もが HAPPY!! ・人が集まる魅力あるまち
やってみたいこと：	・予約なしのイベント参加（行けば誰かと交流につながる） ・観光タクシー（観光名所を地域の人々で発案） ・下館駅前を開発してフェスを開催する ・年配の方が子どもの面倒を見る場の提供 ・子どもと一緒に職業体験（大人も職業体験）



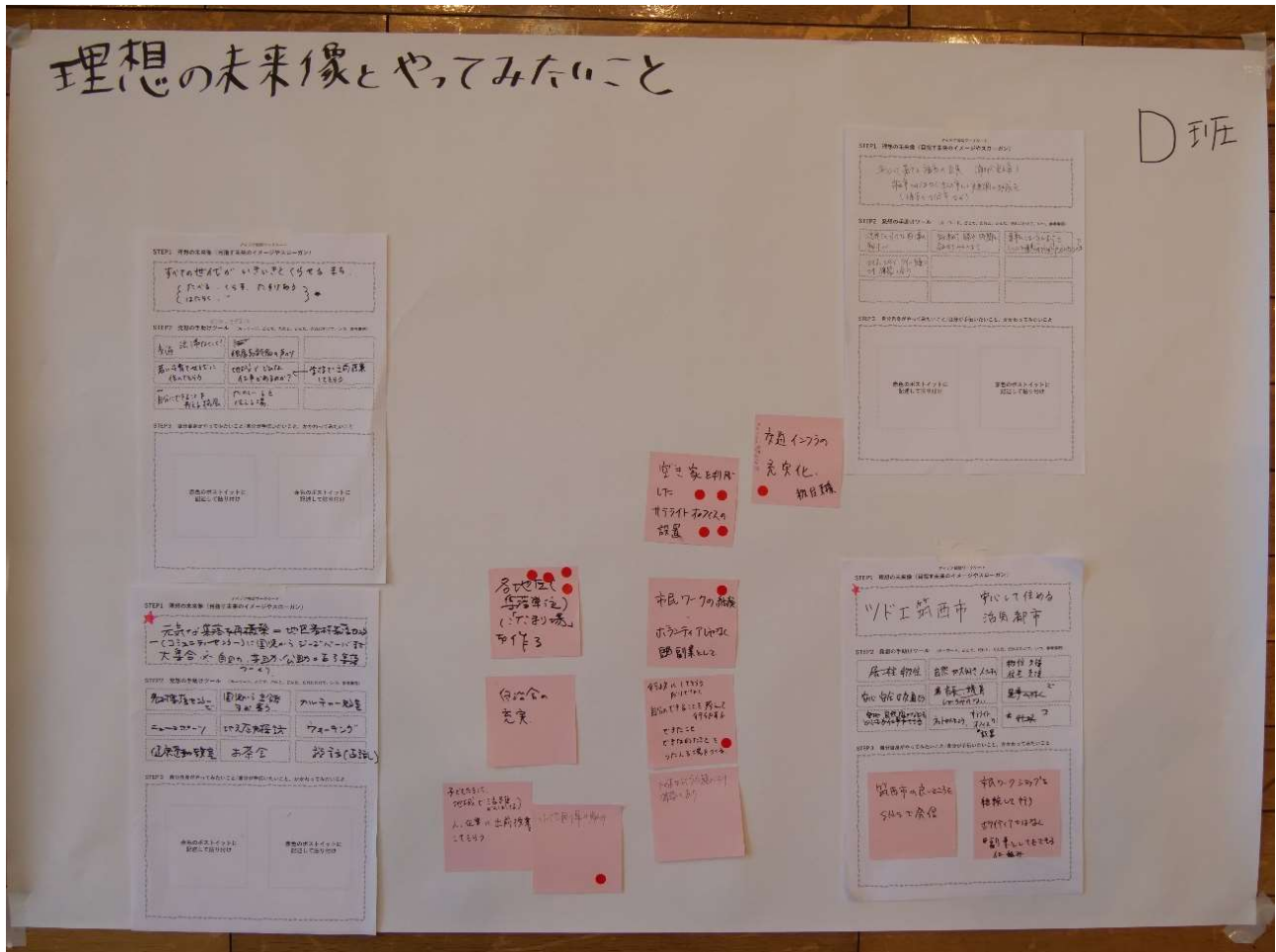
図表 17 発表用模造紙② (B 班)

<C 班>	
理想の未来像：	・住みたくなる 住み続けたくなる 筑西 ・子や親と手をつないで散歩ができる安全で緑が濃い散歩道の充実
やってみたいこと：	・子育て体験の発信 ・農業の手伝い ・若者の雇用創出→起業 ・おしゃべりコーヒーショップ ・植物在来種の保護 ・ホテル再生



図表 18 発表用模造紙② (C 班)

<D班>	
理想の未来像：	・ ツドエ筑西市 安心して住める活気都市 ・ 元気な集落を再構築 ・ すべての世代がいきいきと暮らせるまち ・ 安心して暮らせる福祉の充実
やってみたいこと：	・ 各地区や集落単位のたまり場を作る ・ 小さな困りごとの声かけ ・ 空き家を利用したサテライトオフィスの設置 ・ 交通インフラの充実 ・ できたこと、できなかったことを伝える場をつくる ・ 筑西市の良いところを SNS で発信



図表 19 発表用模造紙②（D班）

3.4. 意見のまとめ（理想の未来像とやってみたいこと）

筑西市の理想の未来像として、「色々な人が集まる」や「人と人とがふれあえる」等のコミュニティの形成や人とのつながりが重要視されています。

筑西市の良いところである人と人とのつながりを発展させることで、筑西市への愛着や住み続けたいという思いを強め、理想のまちづくりにつながると考えられます。

世代を超えた交流を通じて住みやすいまちを目指す意見も多く出されており、例えば、年配者が子どもの面倒を見ることや、文化や芸術を次世代へ継承することで目指すべき理想像に近づいていく、という意見が挙げられました。

様々な世代に選ばれるまちを目指す意見もあり、自然豊かな筑西市を暮らしの選択肢として捉えてもらう可能性が示されています。

最後に、理想のまちに近づくためにやってみたいこととして、情報発信や地域活動の支援、賑わいの創出、自然環境の保護、就業体験等の様々な意見が挙げられました。

各個人がやってみたいと思うことを後押しすることで、市民とともにより良いまちづくりを進めていくことが可能になると考えられます。

○浮かび上がるキーワード

人、ふれあい、つながり、交流、コミュニティ、人が集まる

子ども、若者から高齢者まで、老若男女、世代を超える

自然、文化・芸術、イベント、情報発信、知名度向上、地域活性化

安心、元気、住みやすさ、働きやすさ

4. 参考資料

4.1. 集合写真

ワークショップの最後に、参加者全員で記念撮影を行いました。



図表 20 集合写真



図表 21 当日の進行ボード

4.2. グラフィックレコーディング

今回のワークショップでは、グラフィックレコーディングという技法を用いて、ワークショップの様子を記録しました。



図表 22 グラフィックレコーディング